

きさらづ

市議会だより

平成16年2月1日

第82号

編集・発行 / 議会広報特別委員会
.0438(23)7111

http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/



11月28日 本会議開会前に開かれた
真里谷在住「白井麻友さんのヴァイオリンミニコンサート」

12月定例会

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する 条例の一部を改正する条例の制定についてなど 23議案を可決

十二月市議会定例会は、十一月二十八日から十二月十八日までの二十一日間の会期で開かれました。

今定例会では、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてなど合計二十三議案が審議され、可決・承認・同意されました。また、十二人の議員が一般質問(代表・個人質問)を行いました。

本会議の経過

初日

十一月二十八日は、まず、今定例会の会期を十二月十八日までの

十一月二十八日は、まず、今定例会の会期を十二月十八日までの

十一月二十八日は、まず、今定例会の会期を十二月十八日までの

2日目

十一月二十九日は、

十一月二十九日は、

3日目

十二月一日は、

十二月一日は、

4日目

十二月四日は、

十二月四日は、

5日目

十二月五日は、

十二月五日は、

12月定例会の日程

日程	議事の内容
11月28日(金)	本会議(諸報告 議案等上程 議案審議 議案審議 議案審議 議案審議)
12月 2日(火)	本会議(一般質問)
12月 3日(水)	本会議(一般質問)
12月 4日(木)	本会議(一般質問)
12月 5日(金)	本会議(一般質問 請願審議 請願付託)
12月 8日(月)	常任委員会(総務企画消防)
12月 9日(火)	常任委員会(教育市民福祉・土木都市水道)
12月10日(水)	特別委員会(合併調査・業務核都市拠点地区対策)
12月18日(木)	本会議(議案等審議 議案上程 議案審議)

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

十二月二日は、三人

紙面ガイド

1面	本会議の日程と経過
4・3・2面	一般質問と答弁の概要
5面	意見書内容と委員会のうごき
6面	議案などの内容と議決結果

一般質問と答弁などをケーブルテレビで放映

内容 / 1回目の質問と答弁(各々15分)、提案理由の説明。
時刻 / 質問当日の午後11時から及び同夜午前1時30分から(再放送)放映。

傍聴者の状況

区分	12月計	15年累計
本会議	151人	464人
委員会	3人	29人
合計	154人	493人

十二月十八日は、まず、今定例会の会期を十二月十八日までの

十二月十八日は、まず、今定例会の会期を十二月十八日までの

12月定例会 一般質問と答弁の概要

代表質問 5人・個人質問 7人

12月定例会では、12人の議員が市政に対する一般質問(代表質問5人・個人質問7人)を行い、大綱59点・137項目にわたり市当局の見解や方針などをたどりました。

紙面には、各議員の質問内容と質問議員が選択した大綱1点について、質問と答弁の概要を掲載しました。

なお、本会議の全容を記録した会議録は、市議会ホームページ内の「会議録の検索と閲覧」でご覧いただけます。

また、製本版の会議録は、市役所2階行政資料室・公民館・図書館などで閲覧することができます。

市政会代表

滝口 敏夫 議員

市長のリーダーシップについて 財政運営について
次期総合計画について 全国都市再生モデル調査について
高速バスについて アインスピルの再生について
さつき園の社会福祉法人への移譲について
土地区画整理事業について
公共下水道の八幡台地区への接続について
水道行政について

公共下水道の八幡台地区への接続について

問 十一月、八幡台地区への公共下水道接続に関するさまざまな問題が報道された。生活共同組合千葉県労働者住宅協会(以後、労住協)の預かり金の流用問題、下水道の不具合による補修、その補修の負担ができないなど、まさに地域住民の生活環境を脅かす状況である。

答 八幡台地区の下水道編入については、平成四年二月に労住協から公共下水道の接続依頼の要望書の提出があり、労住協の現況調査の結果、市は平成十四年十月に下水道台帳の整備、下水管の不良箇所の補修等を条件に引き継ぐ旨の文書をも

正栄会代表

平野 秀樹 議員

平成16年度予算編成について
第1次総合5か年プランについて
行政改革の取り組み方針について
さつき園の社会福祉法人への移譲について
中心市街地の活性化について
住基ネット本稼働後の状況について
区画整理事業の進捗状況について

行政改革の取り組み方針について

問 民間サイドで行われている就業時間の短縮または残業を抑制してその分で新たな雇用の創出を図るなどのワークシェアリングの手法を導入し、人件費抑制のための人員削減

を補っていくような考えはないのか

答 現在、本市においては、既にさまざまな業務に臨時職員やパート職員の雇用を実施している。業務としては、保育園での早朝、夕方での延長保育の補助、学校給食での調理員、保健相談センターでの検診業務、国民健康保険のレセプト点検など多岐にわたっている。本年十月末現在では臨時職員五十四名、パート職員百六十一名の合計二百十五名が雇

って回答したところである。

本年六月に労住協により、下水道の補修費用約2億七千万については、確保できないが、労住協の所有している他地区の事業用資産等を売却し、資金調達の上で下水道管の補修に着手するの

で、補修完了前の引き継ぎの要望があった。

市は、条件整備の見通しのない状況での接続は難しいこと、平成十六年四月時点での接続は無理であることを伝え、引き続き条件の早期履行を依頼したところである。

用されている。

なお、これらの業務により、退職職員の正規職員での補充の代替、業務量が年間変動することへの対応、経費の削減策としての実施、専門的な業務への対応などの理由により、全体として人件費の抑制に努めているところである。

ワークシェアリングについては、現行の地方公務員法上の制約もあり、一年を超える臨時的な雇用はできないため、現時点での導入は考えていないので理解いただきたい。

新栄会代表

野田 芳久 議員

平成15年度施策の成果について
業務核都市としての今後のあり方について
道路・交通アクセスについて
中心市街地の活性化について

平成十五年度施策の成果について

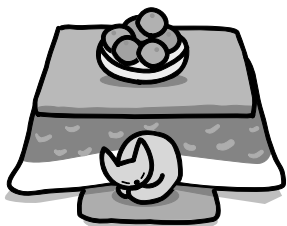
問 平成十五年度施策の成果について、開かれた市政の推進と市民の力を生かし、最小の経費で最大のサービスを提供できるまちづくりという基本施策に對して、どのような取り組みをしたのか

答 行政の効率化については、事務改善に努めるとともに、事業の見直しによる外部委託の推進、市民活動支援の担当を設置し、市民団体の育成・協働に取り組んできた。効果については、経費の削減、民間事業者によるサービスの向上など、成果は徐々に現れてきていると考える。

問 各部において、苦情等に対して迅速に対応できる体制づくりをしていただきたいがいかがか。また、更に職員の意識改革を進め、事務事業の改善に努めていただきたいがいかがか

答 市民サービスの各分野を預かる市役所の各部・各課の担当における対応の仕方が重要であり、「素早い対応・身をもって動く」ということが必要であると考えている。

また、コスト意識を常に持ち、不断の事務改善に努める努力が必要であり、全職員が改善の取り組みを行う姿勢を持つことが最重要であると認識している。



公明党代表

岡田 壽彦 議員

行政改革について
国保制度について
介護保険制度について
学校施設と文化行政について
活力あるまちづくりについて

学校施設と文化行政について



旧安西家住宅での一泊体験

問 本市は、歴史と文化が息づくまちである。金鈴塚古墳からの出土遺物は、全国的にも有名な文化財であり、外国にも広く紹介されていると聞いている。

答 金鈴塚古墳からの出土品については、一括して国の重要文化財に指定されており、平成十六年度には、ドイツ連邦共和国の二つの市で開催される日本の市で開催される日本考古学展に金鈴、刀、太刀、馬具等が出展されることが決まっている。金鈴塚遺物保存館においても企画展等をおこなっている。

市民ネットワーク代表

荒生 直美 議員

市長の政治姿勢について
福祉行政について
市民が利用しやすい施設について
水道行政について
環境行政について

市長の政治姿勢について

問 市民参加の必要性を市はどの程度考えているのか。また、市民参加の状況を把握し、参加の形態や段階にあわせて実行可能な施策を打ち出していく必要があると考えるがいかがか

答 これまで各種の審議会委員の公募、地元説明会やアンケート調査の実施、本市ホームページのきさら提案箱による意見募集など、市民参加を得て、本市行政に関する意見をいただく機会を設

けているところである。さらに、市民の政策形成への参加機会を拡大するため、各別計画の条例の素案を示し、これに対する意見を募集、反映させていくパブリックコメント

の形成過程での市民参加の周知方法等についても検討していきたい。

実施することで、市民に公開をしているところである。

また、畑沢公民館の文化祭では、初の試みとして大久保地区にある古代瓦生産工場、牛ヶ作瓦窯遺跡からの出土品を出前展示した。さらに、旧安西家住宅の活用を図るため、小・中学生を対象に、夏休み茅葺根住宅一泊体験という企画を実施したところである。

このように、現有の文化財を広く知ってもらい、また、活用していくという一つの方針として、これから事業を推進していきたいと考えている。

問 パブリックコメント制度の導入に向けて検討が始まっているというが、その機能が十分発揮されるよう、事前に市民に具体的な説明が必要と考えるがいかがか

答 既にワーキンググループを組織し、具体的な研究を始めたところである。今後、パブリックコメント制度の形成過程での市民参加の周知方法等についても検討していき

白坂 英義 議員

行政改革について
学校行政について
公民館の運営について

学校行政について

問 平成十三年六月、大阪の池田小学校で発生した痛ましい事件を受け、国において不審者対応訓練等の対策が打ち出された。本市においては、不審者に対する予防措置として防犯ブザーを設置しているが、これ以外にどんなセキュリティを実施しているのか

答 不審者侵入対応の訓練を初めとして、外部からの来訪者に対しては、受付簿、名札等を整備し、正式な来訪者かどうかを確認できるようにしてあるほか、校内巡視により、不審者の発見に努めている。その他、地域情報の収集については、各地域の交番や地域住民と連携し、学校周辺における不審者の情報

を日常的に把握する取り組みを行っているところである。また、登下校時や放課後における地域での安全確保策を交通安全指導と兼ねて行うとともに、子ども一〇番の家を緊急時の駆け込み場所として活用し、児童・生徒自身も身の安全を確保できるように指導している。

後藤 秀 議員

北子安ゴミ最終処分場建設について
滝沢地区の不法投棄について
高速バスストップ計画(烏田土地区画整理事業地内)について
波岡中学校の新通学路について
波岡小学校の通学路について

波岡小学校の通学路について



波岡小学校の通学路

問 波岡小学校への通学路は、かなり狭い歩道を通らなくてはならない。今回、地元滝沢区長、交通安全協会波岡支部長連名で提出された通学路の交通安全確保についての要望書に対して、市はどう対処するのか

答 地元滝沢地区から本年七月八日付けで市政に関する要望として、路面上への通学路及び三十キロメートル規制についての表示及び道路標識の改善の二点が提出された。早速現地を調査し、担当部及び木更津警察署に要望したところ、表示が薄くなっていた「学校注意」の路面表示については塗り直

し、「注意通学路」の路面表示については、上下線ともそれぞれ入り口付近に表示された。また、三十キロメートル規制表示については、それぞれ二カ所ずつ警察署により表示されたところである。さらに道路標識についても、通学路の標識を運転者に分かりやすいように改善していただいた。



学校のガードを固めるだけでなく、保護者、地域の人々の協力のもとに、学校の安全を確保していくことも大切にしていくところである。

山形 誠子 議員

八幡台ニュータウンの下水道問題
 中学校給食の実施を
 吾妻地区の排水溝整備
 潮浜スポーツセンターの存続について

八幡台ニュータウンの下水道問題

問 八幡台ニュータウンの下水を公共下水道と接続すると、工事費の総額は二億七千万円で、下水道に接続する以前に三百二十七カ所補修する必要があると聞くが、その工事内容と費用の内訳について伺いたい

答 公共下水道と接続する費用について

問 現在の汚水処理施設は相当古いため、約五億円修理費がかかると聞いている。この

答 労住協から聞いている内容は、汚水処理施設の機器等については若干の補修は要する

問 破損箇所等の不具合のある下水道管の補修費用二億五千万円や、下水道台帳の作成費用が約二千万円など合わせて約二億七千万円を要する見込みである。

答 まま修理をしない場合、どのくらい施設を維持できるのか。市は、生活共同組合千葉県勤労者住宅協会(以後、労住協)からこの点どう聞いているのか伺いたい

答 労住協から聞いている内容は、汚水処理施設の機器等については若干の補修は要する

佐藤 多美男 議員

中台浄水場用地購入問題について
 水道料金の値上げ問題
 金田地区土地区画整理事業
 請西地区(東)交差点の改善

水道料金の値上げ問題



水運用総合センター(潮見)

問 水道料金の値上げの理由と要因について伺いたい

答 本市の水道料金は、平成九年四月に料金算定期間を平成十二年までとし、平均十二・三%の改定を行ったが、料金算定期間を経過した現在も市民の経済的負担を抑制するために、現行料金を維持しているところである。

問 水道料金の値上げの理由と要因について伺いたい

答 本市の水道料金は、平成九年四月に料金算定期間を平成十二年までとし、平均十二・三%の改定を行ったが、料金算定期間を経過した現在も市民の経済的負担を抑制するために、現行料金を維持しているところである。

る。しかし、近年の景気の低迷や生活様式の変化などにより、料金収入が落ち込み、五年連続の赤字決算となつたわけである。

この間、人件費の抑制を初め、諸経費の削減や補助金の繰り入れ、有収率向上対策などの企業努力をしてきたが、資金繰りが限界のため、財政健全化計

るが、処理施設本体は当面運転に支障はないとのことである。

問 本来に来年度には下水道接続になるのか

答 労住協が市の示している条件を整理すれば、十六年度の早い時期に接続できると伝えて



画の審議を水道審議会に依頼したものである。

問 水道審議会の答申では、大口使用者より小口使用者の値上げ率が大きく不公平感が免れないが、答申どおりの料金体系とするのか

答 本市では口径別の料金体系を採用し、現行の基本料金については、一般家庭での使用料金を低く抑えるような料金体系となつている。改定に当たっては、できるだけ現行料金体系に近い形になるよう考えている。

武藤 義彦 議員

第54回全国植樹祭会場となった「かずさ1号公園」の今後の計画について
 館山自動車道烏田高速バスストップ計画について
 羽田空港二期拡張工事に係る騒音対策について

館山自動車道烏田高速バスストップ計画について



烏田土地区画整理造成工事

問 館山自動車道に沿って進捗している烏田土地区画整理事業に伴い、隣接する四団地の人口は約二万三千人となる見込みである。そこで、東京湾アクアラインを通過する高速バスの停留所計画を推進するため、「館山自動車道烏田バスストップ設置連絡協議会」が設置されたと聞くが、このバスストップ計画の概要について聞きたい

答 バスストップ計画の見通しはどうか

答 現段階では時期等については明言できる状況ではないが、道路公団の動向や烏田土地区画整理事業の進展等の状況を踏まえつつ、一刻も早く実現できるように積極的に取り組んでいきたい。

平井 秀幸 議員

構造改革特区について

構造改革特区について

問 構造改革特区についての本市の取組み状況について及び、今後の方向性について伺いたい

答 国では、平成十五年一月二十四日閣議決定した構造改革特別区域基本方針に基づき規制緩和が推進されており、十一月現在千葉

県内では、八件の認定を受けた。本市域に係る特区では、県が申請し五月に新産業創造特区として認定を受けたかずさ地域が特別特区となっている。

本市では、第二次提案において、十五年度に事業実施可能な特区案件について、また、



第三次提案についても、本年十月以降に実施可能な案件を市内で検討したが、いずれも認定基準にある「規制の特例措置を受ける主体が認定されていること及び事業スケジュールが明確である」という条件に合致し円滑かつ確実に実施が見込まれる事業」が現在予定されていないことから、今後については、市及び民間事業者が実施主体として取り組むことができない特定事業について検討を進め、地域の特性を生かした取り組みを行いたい。

申請には至っていない。

今後については、市及び民間事業者が実施主体として取り組むことができない特定事業について検討を進め、地域の特性を生かした取り組みを行いたい。



平成15年7月15日にオープンした君津中央病院新病院(桜井)

荻野 一男 議員

行財政改革に関する件
 「資源ゴミ回収」に関わる奉仕活動の意義について
 君津中央病院の財政負担について

君津中央病院の財政負担について

問 君津中央病院の四市負担金が平成四年から二十億円台になっている。市民の血税か

ら恒常的に繰り出している状況にあるが、本市は、ここ数年間の負担金の額を、公立病院

に対するものとして妥当と認識しているのか伺いたい

答 君津中央病院の運営は、独立採算性の原則により経営がされる所だが、不足分については、公営企業法の繰り出し基準に基づき、構成四市で負担している。

君津中央病院の負担金については、平成十年以降、二十一億三千万円を上限と設定されているが、本年十二月組合議会において、構成四市の財政環境が極めて厳しい状況にあるため、総額を二十億円とする具体的な提案をしてきたところである。

しかし、結果として新病院開設年度である十五年度は赤字が見込まれるため、二十一億三千万円の負担金が議決されたが、その際、十六年度の負担金については、財政収支計画のさらなる検討を行い、見直しをすることが条件とされたところである。

平成15年度予算額一覧表

(単位:千円)

会計名	補正前の額	今回の補正額	議決後の額
一般会計	31,513,631	140,191	31,653,822
特別会計			
国民健康保険	10,815,000	140,094	10,955,094
老人保健	7,848,736		7,848,736
介護保険	4,110,156	105,564	4,215,720
特別養護老人ホーム	275,762	430	275,332
公設地方卸売市場	108,100	953	107,147
公共下水道事業	4,595,900	5,244	4,590,656
駐車場事業	326,000		326,000
小計	28,079,654	239,031	28,318,685
水道事業会計	5,066,200	14,769	5,051,431
合計	64,659,485	364,453	65,023,938

委員会の動き

- 総務企画消防常任委員会
委員会(平成十五年十一月八日)
継続案件審査 陳情件
教育市民福祉常任委員会
委員会(平成十五年十一月九日)
継続案件審査 陳情一件
土木都市水道常任委員会
委員会(平成十五年十一月九日)
継続案件審査 請願一件
議会運営委員会
委員会(平成十五年十一月十五日)
十一月定例会議事運営について他

意見書の提出

今定例会で議員より提案され可決された発議案1件に基づき、下記の意見書を政府に提出しました。

中華人民共和国に対するODA(政府開発援助)見直しを求める意見書

わが国の対中国のODAは、昭和54年に開始以来、平成15年度で24年になる。現在、中国は世界最速の経済成長にあり、巨額な外貨準備高を有し、対日貿易黒字額は年間3兆円にも上り、対日輸出でわが国の農家、繊維業者などは甚大な影響を被っている。

また、毎年軍事費に膨大な資金を注ぎ込み核ミサイルを保有し、世界72カ国への援助大国でもある。

ODAとは、先進国の政府などから発展途上国の政府や国際機関へ供与する援助で現在の中国は軍事大国(米国に次ぐ規模)援助大国でその対象とは成り得ないものである。

よって、我が国の対中国ODA見直しを強く要望する。
 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成15年12月18日

千葉県木更津市議会

- 業務核都市拠点地区対策特別委員会
委員会(平成十五年十二月十日)
西口再開発(L&Aインスール)の取得後の状況について
行政視察(平成十五年十一月十八日、二十日)
埼玉県さいたま市 埼玉中枢都市圏業務核都市に関する取り組みについて
岩手県花巻市 花巻市の工業振興策(企業誘致施策)について
岩手県北上市 北上市の工業振興策(企業誘致施策)について
合併調査特別委員会
委員会(平成十五年十一月十日)
付託案件審査 請願一件
議会広報特別委員会
委員会(平成十六年一月二十日)
市議会だより第82号の発行について
議員定数調査委員会
委員会(平成十五年十二月十六日)
今後の調査方針について

議案などの概要

市長提出議案

議案第88号

一般職の職員の給料月額及び扶養手当の額並びに期末勤続手当の支給率等を改定するため、関係条文の整備をしようとするものである。

議案第89号

常勤の特別職職員の期末手当支給率を引き下げるため、関係条文の整備をしようとするものである。

議案第90号

十一月九日執行の衆議院議員総選挙及び最

の内訳は、(5)面の『平成十五年予算額一覧表』のとおりです。

議案第97号

木更津市区域の人権擁護委員「鳥飼幸夫」氏の任期満了に伴い、同氏を再度推薦するため、議会の意見を求めるものです。

議案第98号

上総新研究開発土地区画整理組合の解散に伴い委員の構成を変更するため、関係条文の整備をしようとするものです。

議案第99号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正に伴い、関係条文の整備をしようとするものです。

議案第100号

独立行政法人日本スポーツ振興センター法の施行に伴い、関係条文の整備をしようとするものです。

議案第101号

上総新研究開発土地区画整理事業により、木更津市と君津市との境界を変更した結果、字の区域及び名称の変更を必要が生じたので議会の議決を得ようとするものです。

議案第102号

千葉県が公有水面埋立免許を受け、ふ頭用地、緑地及び海岸保全施設用地として埋め立てた土地を本市の区域内に新たに生じた土地として確認することに

ついて、議会の議決を得ようとするものです。

議案第103号

千葉県が公有水面埋立免許を受け、ふ頭用地、緑地及び海岸保全施設用地として埋め立てた新たな区域の字の設定について、議会の議決を得ようとするものです。

議案第104号

寄付による既存市道路線の見直しに伴い、市道路線を見直しに併せて、議会の議決を得ようとするものです。

議案第105号

寄付による既存市道路線の見直しに併せて、市道路線の見直しに併せて、議会の議決を得ようとするものです。

宅地開発事業及び土地区画整理事業により築造された道路等の認定をするため、議会の議決を得ようとするものです。

議案第106号

君津郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する必要があるため、議会の議決を得ようとするものです。

議員発議案

議案第16号

議会の議員の期末手当の支給率を引き下げるため、関係条文の整備をしようとするものである。

議案第17号

議会の議員の期末手当の支給率を引き下げるため、関係条文の整備をしようとするものである。

番号	件名	本会議の結果	
市長提出議案			
議案第88号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第89号	特別職の職員で常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	賛成多数
議案第90号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第91号	平成15年度木更津市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	賛成多数
議案第92号	平成15年度木更津市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	賛成多数
議案第93号	平成15年度木更津市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	賛成多数
議案第94号	平成15年度木更津市立特別養護老人ホーム特別会計補正予算(第2号)	原案可決	賛成多数
議案第95号	平成15年度木更津市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第2号)	原案可決	賛成多数
議案第96号	平成15年度木更津市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	賛成多数
議案第97号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致
議案第98号	附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第99号	木更津市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第100号	日本体育・学校健康センター共済掛金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第101号	字の区域及び名称の変更について	原案可決	全会一致
議案第102号	新たに生じた土地の確認について	原案可決	全会一致
議案第103号	新たに生じた区域の字の設定について	原案可決	全会一致
議案第104号	市道路線の廃止について	原案可決	全会一致
議案第105号	市道路線の認定について	原案可決	全会一致
議案第106号	君津郡市広域市町村圏事務組合規約の変更に関する協議について	原案可決	全会一致
議案第107号	平成15年度木更津市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	賛成多数
議員発議案			
発議案第16号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
発議案第17号	中華人民共和国に対するODA(政府開発援助)見直しを求める意見書について	原案可決	賛成多数
発議案第18号	農業委員会委員の推薦について	原案同意	全会一致
請願・陳情			
請願第4号	木更津市長須賀下田地区の宅地開発に関する請願書	趣旨採択	賛成多数
請願第6号	木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市の任意合併協議会設置を求める請願書	採択	賛成多数
陳情第8号	中華人民共和国に対するODA(政府開発援助)見直しを求める意見書提出に関する陳情書	採択	賛成多数
陳情第15号	「保育所運営費の一般財源化」に関する意見書提出の陳情書	不採択	賛成少数
陳情第16号	幼稚園・保育所の「一元化」、保育所調理室の必置規制撤廃論議に関する意見書提出の陳情書	不採択	賛成少数

次の定例会は、2月23日(月)から開催される予定です。

議会を傍聴してみませんか
受付で住所・氏名を記入するだけで簡単に傍聴できます。
(委員会の傍聴は、委員長の許可が必要です。)

会議録の閲覧について
平成15年12月会議録は、市役所(2階)行政資料室、最寄りの公民館・図書館などで3月1日(月)頃から閲覧することができます。

インターネットによる会議録の検索・閲覧について
市議会ホームページ内の「会議録の検索と閲覧」で、本会議および委員会の会議録をご覧いただけます。
(平成15年12月会議録は2月下旬公開の予定です。)

URL <http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/>



詳しくは、議会事務局へお問い合わせください



会議録の検索と閲覧 トップ画面

請願

請願第6号

陳情第8号が採択されたことに伴い、(5)面の意見書を政府に提出しようとするものです。

発議案第18号

農業委員会委員「勝畑竹俊」氏の辞任に伴い、(江川八四七番地「近藤富男」氏)を推薦しようとするものです。

関係四市議会の平成十四年九月市議会定例会において、法定合併協議会の設置議案が全市での可決とならず、法定協議会の設置にはいたらなかったことから、任意協議会の設置について、木更津市議会の賛同を求めるものです。請願者・かずさの合併を考える市民協議会・会長「宮崎洋史」